

平成29年度下期「電力利用効率化見学会」を開催しました

九州地方電力利用効率化協議会では、平成29年度下期見学会を11月17日(金)に、熊本地区で開催し、17社22名に参加いただきました。

今回は、平成28年年度に省エネ法に基づく省エネ評価Sクラスを達成している、(株)井関九州製造所、YKKAP(株)九州製造所を訪問しました。

【株式会社井関九州製造所】

午前は、熊本県益城郡にある「井関(株)九州製造所」において、熊本事業所の概要、省エネルギーの取組み状況の説明を受け、質疑応答を行った後、展示館を見学してから工場のラインを見学しました。

省エネの取組みでは、工場内の主要箇所200箇所に電力の測定点を設けて、電力の使用状況を24時間管理できる電力監視システムを導入され、収集したデータを分析することで測定箇所の電力の使用状況を可視化して、無駄な電力を削減していました。また、経年時期を迎えたポンプなどの設備の更新や照明のLED化などにより省エネに取り組んでおられました。見学者からは、導入費用や削減効果、設備制御などの多くの質問・意見出され活発な意見交換ができました。

見学では、コンパインの製造ラインを設備の概要などについて説明を受けながら視察しました。特徴的なことは、手動で部品を組み立てる工程が多く、このことが熊本地震の被害から早期の操業に繋がったとのことでした。



【YKK AP株式会社 九州製造所】

午後は、八代市にある「YKKAP(株)九州製造所」を訪問しました。

この工場では、アルミ建材の一貫生産ラインを有し、住宅用サッシ、エクステリア商品などを生産し、九州県内及び全国各地への供給拠点となっています。

見学前に工場概要や省エネ・環境保全への取組みについて説明を受けました。

省エネでは、既存の蛍光灯、水銀灯等のLED照明への更新による電力の削減やボイラーを蒸気使用設備の近くに移設することによる送気配管からのエネルギーロスの削減など、環境保全では、小学校へのネット設置やゴーヤの栽培などのグリーンカーテン完成への手伝いなど、具体的な取組みの説明がありました。見学者からは、これらの具体的な取組みについて、活発な意見交換がなされました。

見学では、数あるラインの中からアルミ建材製造ラインを見学しました。アルミ建材の押出工程から表面処理工程を間近で視察することができ、スケールが大きく非常に見応えのあるものであり、見学者も関心を持って各工程の特徴について説明を受けていました。

見学後は、エクステリアプラザで最新の窓の断熱体験をされている見学者もおられました。

